

コミュニティ だより

徳島市
徳島市コミュニティ協議会
徳島市幸町2丁目5番地
TEL(088)621-5510
FAX(088)621-5511

二〇二三年を迎えて



徳島市長 内藤佐和子

さて、本市を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大防止をはじめ、急速に進行する人口減少や少子高齢化、さらには世界情勢の影響による物価高騰への対応など様々な課題が山積しております。

明けましておめでとうございます。
新しい年を穏やかに迎えたいと謹んでお慶び申し上げます。
皆さまには、日頃よりコミュニティ活動に深いご理解と多大なるご尽力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

また、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にも、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

そうした中、常に地域を思い、地域が抱える課題に向き合う、皆さまの献身的なコミュニティ活動は、人と人とのつながりや地域の絆を深め、誰もが安心して暮らし続けることのできる地域社会づくり

実をはじめ、ダイバーシティやSDGsの推進など、時代の変化を捉えた取り組みを加速させてまいりたいと存じます。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

徳島市コミュニティ連絡協議会



会長 島田 和男

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとりましては、健やかな新年をお迎えのこととご推察申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、大きな出来事が国内外でいろいろと発生いたしました。中でも特に目立つのは、戦後の

体制に逆行するロシアの武力によるウクライナへの侵攻や核による脅しなどもありました。世界的には、異常気象による大規模な山火事や大干ばつ、大水害が発生しています。各国が協力して早く対策を取らないと人間の力では、コントロールできない環境の大きな変化が起こり、地球環境が一変し人類が住めなくなる可能性があります。このようにことから判断し戦争などしている時間的猶予はないと思われれます。

国内では安倍元総理大臣の暗殺によって浮かび上がった旧統一協会等の問題もありましたし、コロナ株が変化し新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であります。

徳島市コミュニティ連絡協議会においても公民館統合といった大変化がありました。戦後七十有余年続いた公民館活動がコミュニティ協議会に統合され地域活動が一本化されスムーズに活動が行われるようになりました。

令和四年度には、市内公民館三十館の内すでに九館が統合され順次十年間をかけて市内全館が統合されることになっております。先に統合した協議会の方々は未統合の公民館・協議会の方々に情報や統合の方法などを話し合いながら十年を待たずに、一本化したいものであります。そして先進地に負けないよう内容等も充実させ追いつき追い越していきたいと思います。

最後になりましたが、市内各コミュニティ協議会関係者にとりましては、より良い年になるようご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

地域貢献高齢者顕彰



地域貢献高齢者顕彰記念 令和4年10月1日

令和四年十月一日に開催された置市記念式典において徳島市地域貢献高齢者顕彰制度に基づき、日ごろから地域のコミュニティ活動に貢献されている方々に対し、内藤佐和子市長から感謝状の贈呈が行われました。

市長からの祝辞の後、受賞者を代表して西富田コミュニティ協議会の岩佐重明氏より謝辞が述べられました。

顕彰されたのは次の方々です。

- 内町まちづくり協議会 濱口 靖徳
- 新町コミュニティ協議会 田島 良子
- 西富田コミュニティ協議会 岩佐 重明
- 昭和コミュニティ協議会 泉 佳秀
- 渭北街づくり協議会 奥村賀津子
- 佐古コミュニティ協議会 上田 泰行
- 沖洲コミュニティ協議会 濱田 忠孜
- 津田コミュニティ協議会 宮島 道子
- 加茂コミュニティ協議会 渡邊 浩吉
- 八万町各種団体連絡協議会 芦谷 勝久
- 八万中央コミュニティ推進協議会 久次米潤一
- 八万コミュニティ推進協議会 岩田 唯夫
- 多家良中央コミュニティ協議会 立岩 英志
- 不動コミュニティ協議会 佐々木テル子

代表者謝辞

入田町まちづくり協議会 近藤 則行
 上八万コミュニティ連合協議会 吉田 月子
 上八万コミュニティ協議会 内海 健二
 一宮下町まちづくり推進協議会 溝杭 貞子
 南井上コミュニティ協議会 松島 孝昌
 北井上地区コミュニティ協議会 大寺 和子
 (以上行政区順)

私は、西富田コミュニティ協議会の岩佐重明と申しますが、顕彰していただきました二十名を代表して、一言御礼を申し上げます。

本日は大変お忙しい中、市長様、市議会議長様をはじめ多くの皆さまのご臨席をいただき、盛大な地域貢献高齢者顕彰式を催していただき、大変ありがたく存じます。

私どもが取り組んでまいりました活動は、コミュニティ活動や生涯学習、福祉また青



西富田コミュニティ協議会 岩佐重明氏

少年の健全育成や防災活動、美しい街づくりなど多種多様にわたっておりますが、これらの活動を展開できましたのも多くの皆さま方の温かいご支援やご協力、また行政機関の積極的なご支援の賜物と深く感謝申し上げますところでございます。

私どもは、多くの方々のお支えをいただき本日の喜びを迎えられたことを肝に銘じ、これからも美しい街徳島市、住んでよかった徳島市発展のために誠心誠意取り組んで参ることをお誓い申し上げます、お礼の言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

本年もよろしく お願いいたします

- 沖洲コミュニティ協議会 会長 三栖谷高照
- 津田コミュニティ協議会 会長 島田 和男
- 加茂名まちづくり協議会 会長 宮本 昌美
- 加茂コミュニティ協議会 会長 宮崎 忠司
- 八万町各種団体連絡協議会 会長 矢田 嘉昭
- 八万中央コミュニティ推進協議会 会長 福永佐知子
- 八万コミュニティ推進協議会 会長 福山 啓子
- 勝占地区コミュニティ連合会 会長 田中 稔
- 勝占中部コミュニティ協議会 会長 竹内 鋭治
- 勝占東部コミュニティ協議会 会長 谷口 榮一
- 多家良地区連合協議会 会長 福井 敏夫
- 多家良中央コミュニティ協議会 会長 高山 宏行
- 丈六コミュニティ協議会 会長 梅本 辰雄
- 不動コミュニティ協議会 会長 大川 良文
- 入田町まちづくり協議会 会長 森 政雄
- 上八万コミュニティ連合協議会 会長 川人 泰博

新町地区社会福祉協議会の 地域での取り組みについて

新町地区社会福祉協議会 会長 後藤 正暁

新町地区は、人口が千八百六十人、男性八百六十五人、女性九百九十五人で六十五歳以上の人口は七百四十七人、十五歳未満の人口は百三十人です。高齢化率が約四十%と高齢化が進んでいます。高齢

者に優しい安心安全で住みやすい街を目指して日々活動に取り組んでいます。現在行っている地区の活動状況をご紹介します。

①敬老会の運営
七十七歳以上の方に案内状を送付して敬老会を開催しています。しかしここ三年は新型コロナウイルスの影響で開催を見合せ案内状と引き換えに記念品を渡していません。

②餅つき
毎月一回社会福祉協議会・民生児童委員・ボランティアの皆さまのご協力を得て食事を作り、主に独り暮らしの方への食事のサービスを提供しています。

③お花見と日帰り遠足
毎年四月頃に公園でお花見を楽しんでいただき、昼食を近くのホテルでとってもらっています。秋には紅葉を見ながら温泉と昼食会で喜んでもらっています。

④餅つき
大変好評で公民館、コミュニティ、町内会連合会、社会福祉協議会、民生委員など各団体が協力して子ども達や学校の先生、地区住民の方にも参加していただきにぎやかにしています。



餅つき

①敬老会の運営
七十七歳以上の方に案内状を送付して敬老会を開催しています。しかしここ三年は新型コロナウイルスの影響で開催を見合せ案内状と引き換えに記念品を渡していません。

②餅つき
毎月一回社会福祉協議会・民生児童委員・ボランティアの皆さまのご協力を得て食事を作り、主に独り暮らしの方への食事のサービスを提供しています。



ウォーキング

③お花見と日帰り遠足
毎年四月頃に公園でお花見を楽しんでいただき、昼食を近くのホテルでとってもらっています。秋には紅葉を見ながら温泉と昼食会で喜んでもらっています。

④餅つき
大変好評で公民館、コミュニティ、町内会連合会、社会福祉協議会、民生委員など各団体が協力して子ども達や学校の先生、地区住民の方にも参加していただきにぎやかにしています。

- 上八万コミュニティ協議会 会長 阿部 増江
- 一宮下町づくり推進協議会 会長 祖川 信明
- 川内まちづくり協議会 会長 植田 和則
- 川内南コミュニティ協議会 会長 坂東 敏夫
- 応神町コミュニティ協議会 会長 濱井 利教
- 国府コミュニティ協議会 会長 藤村 俊治
- 新町コミュニティ協議会 会長 前川 佳弘
- 西富田コミュニティ協議会 会長 石原 誠治
- 東富田コミュニティ協議会 会長 松ノ内 清
- 昭和コミュニティ協議会 会長 松岡 勤
- 渭東コミュニティ協議会 会長 中嶋 修三
- 住吉・城東地区町づくり協議会 会長 浜田 耕市
- 渭北街づくり協議会 会長 近藤 辰夫
- 佐古コミュニティ協議会 会長 吉田 紘
- 南井上コミュニティ協議会 会長 猪口 一
- 北井上地区コミュニティ協議会 会長 伊川 幸治
- 内町まちづくり協議会 会長 宮澤 武志

(順不同)

西部公園徳島県忠霊塔修復完成 慰霊祭を開催

加茂名まちづくり協議会 会長 宮本 昌美

令和四年三月二十日、桜の開花が告げられる中、日本さくら名所一〇〇選に指定されている県内有数の花見の名所である西部公園において、国所有の徳島県忠霊塔の修復完成を記念して、名東郡自治協会加茂名支部が中心となり、施行者圃山建設株式会社様をはじめ、出席者四十八名で、盛大に慰霊祭を開催致しました。

忠霊塔はその昔、金殿庵という古い庵があり、その跡を明治の初年から徳島歩兵第六十二連隊が陸軍墓地として使用していました。昭和十四年十二月徳島

連隊区司令官森本大佐と当時の徳島県知事清水良策氏が地鎮祭を行い、西部公園の小さい山一つを崩して広場を作ったそうです。参道千石と土地は全部篤志家の方に寄贈していただいたそうです。その時代、機械工具は何一つなく、県民一丸となって勤労奉仕で人員延べ十七万二千人が携わりました。当時の高校生も一



式典参加者

つずつ石を持ち、小学生は白玉の砂利を持ち、道とは言えないような旧道運び、多数の奉仕作業のおかげで立派な忠霊塔と広場が出来上がったそうです。

塔の中で一番古い戦没者は明治十年

(西南戦争)に戦死された陸軍二等兵磯部勝三郎氏と記されています。

その後、いく多の戦争により尊い命が失われました。その内、県内での戦没者の一部の三万四千有柱の英霊が祀られています。戦時中は、軍司令部が御護持していましたが、終戦となり、進駐軍より「即刻取り壊し」を依頼されましたが、「加茂名地区町民が御護りしているのだからこのまま置いてください」と、お願



忠霊塔玉垣修復

いしたそうです。それなら「黙認しよう」とのことで、全国でも数少ない立派な忠霊塔が無傷で残ったそうです。

その後、昭和二十七年より徳島市が国有財産を無償で借り受け、公園を整備し「西部公園」として使用しています。また昭和三十三年には、西部公園保勝協会が発足し、公園の充実を図りました。慰霊の為、桜・ツツジを植樹し公園の整備、顕彰及び保勝の実を挙げ、発展に寄与しており

ます。昭和六十一年から六十二年に桜を生かし、再整備されたことにより、平成二年に「日本さくら名所一〇〇選」に選ばれました。

忠霊塔は、加茂名地区軍恩会が主体となり「徳島県忠霊塔守ろう会」を発足させて同会が忠霊塔の管理をしてまいりました。

平成元年には、「徳島県忠霊塔の由来碑」が建立されました。春には法要を、八月十五日には募参大会を行っておりました。近年は役員の方々の逝去などにより、現在は実施されておりません。



忠霊塔慰霊祭式典

公園内に所在する国所有の工作物も経年劣化により修繕が必要となり、徳島財務事務所による忠霊塔防護柵等の改修工事が、令和二年度より始まり、令和四年二月末に終了しました。その完成を祝した慰霊祭の記念に、吉野川ライオンズクラブ様より桜の木をたくさん寄贈していただきました。

これからも、加茂名地区の皆さまと共に西部公園忠霊塔を地域の財産とし、憩いの場として力を合わせて守り続けていきたいと思います。

東富田自主防災会

連合会設立

東富田コミュニティ協議会

今まで、東富田では各町内会にそれぞれ自主防災会がありました。それが、それを取りまとめる自主防災会の連合会はありませんでした。

令和四年になり、徳島市の要望により、自主防災会連合会の発足の段取りを進めることになり、自主防災会会長に発起人のお願い、会則案の制定等を行い、東富田地区自主防災会連合会結成に動き出しました。

令和四年七月二十七日、各町内会の自主防災会の皆さまと徳島市の危機管理局及び徳島市消防局の方出席のもと、東富田自主防災会連合会設立総会を開催しました。

その総会の議題としては、設立の会でありますので、加

入団体の確認と会則の審議、役員の選出を行い、御参加

いただいた皆さまから意見を承り、最終的には了承をいただき無事設立総会は閉会いたしました。

今後東富田地区における、地震、風水害、火災等の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした自主

的な防災活動を、この自主防災会連合会で行ってまいります。すでに動き出している活動としては、東富田地区津波避難計画の策定を進めており、南海トラフが来た時にどの道を通って、どこに逃げるかを話し合う形でワークショップを行っております。



東富田地区津波避難計画

大切な平穏な日常

川内まちづくり協議会会長

令和三年五月、川内町民会館玄関横の両袖に「オタフクナンテン」を植えました。「ナンテン」は、古くから、難を転じる（語呂合わせから）とも言われ、庭木や公園の植え込みなどによく植えられています。

未だ新型コロナウイルス感染症の終息が不透明な現在、制限の無い活動と笑い声の絶えない穏やかな日常が戻ることを願って植えた「オタフクナンテン」。今ではしっかりと根付き、会館への来訪者を毎日出

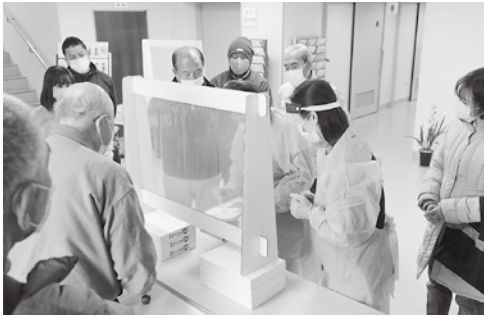


玄関横の「オタフクナンテン」

迎えてくれています。

川内町は、吉野川と榎瀬川、そして今切川に囲まれた緑豊かで心休まる町ですが、自然災害の影響を受けやすい土地柄でもあります。そのため、新型コロナウイルス感染症流行下であっても、災害避難訓練は重要な課題です。

令和二年と令和三年は、対象者を換えながら、川内町の課題についての研修とテナント等の設営訓練を（徳島市危機管理課指導）、令和四年には、町内にある四避難所ごとに、



新型コロナウイルス感染症流行下での避難所受付

新型コロナウイルス感染症流行下における避難所運営について、地区別のリーダー研修を実施しました。本年度は、各避難所における活動の役割分担と行動のマニュアル化を考えています。

「ちよつと来なんなら足が上がらんようになつとる」「ああスッキリした」。これは元気高齢者づくり体操の参加者の会話です。体操指導者と二人の看護師さんたちの献身的な協力のもと、手指消毒の励行、検温、健康観察の徹底、三密、特に換気の実施等、細心の注意を払いつつ、地域高齢者の方々への活動の場を提供しております。

様々な活動の中止や撤退等の判断は、大変重要なことではありますが、リスクを最大



元気高齢者づくり体操での健康チェック

限に排除しつつ、今できることは何か、どうすれば地域住民の要望に答えることができのかを、職員一同で悩みつつ取り組んでいる毎日です。楽しいお喋りと、思う存分活動のできる平穏な日々。そんな日常の大切さをしみじみと感じながら、新型コロナウイルス感染症終息後の明日を目指し、今後とも地域住民の方々とともに頑張りたいと思います。

よりよい地域を目指して

北井上地区コミュニティ協議会

北井上地区は、よりよい地域づくりを目指し様々な問題に取り組んできてまいりました。まず一つは、北井上には飯尾川が通っており、子どもたちが水路で危険な目に遭わないようロープや張り紙等をつけ、その後も協議会会長とともにロープが緩んでいないか、また道路横の樹木が安全を妨げていないかなど周辺もあわせて見回りました。

つぎに令和四年九月一日より使用開始されている、県内初となる「ゾーン30プラス」です。ゾーン30プラスとは、区域全体を最高速度三十キロに規制するとともに、速度抑制効果の高いスムーズ横断歩道（路面を十センチ盛り上げたもの）を芝原駐在所前に整備しています。令和三年から北井上小学、北井上中学校、県警で通学路の危険箇所をまとめた「交通安全マップ」を作成しており、それをもとに協議会会長を中心に県警等と連携をとりながら進めてまいりました。これから登下校中の児童・生徒・地域の方々の安全確保、交通事故の抑止になればと思います。

またコロナ禍の為、人を集めた事業ができず今年度の敬老会も中止となりました。そ



危険箇所の見回り

ここで、コミュニティ協議会の役員の方々を中心に対象者の方へ記念品を配布しました。これからも健康に気を付け長生きしてもらいたいと願いながら記念品に手紙を添えて配布する準備をしました。後日、手元に記念品が届いた対象者の方からお礼の言葉をいただきました。

また地域には、様々な問題があると思いますが、北井上地区コミュニティ協議会を中心に、関係各所に連絡相談しながらひとつひとつ解決していきたいと思います。少しずつではあります、北井上地区が安全で住みやすい地域になるよう努力してまいります。



敬老会記念品



ゾーン30 プラス

コロナ禍でも健康的に

勝占中部コミュニティ協議会

会長 竹内 鋭治

令和二年二月に日本で新型コロナウイルスの感染拡大が本格化してから、早三年近くが経ちました。この過程でウイルスはより感染力の強い株へと変異するとともに、感染者数は増減の波を繰り返しながら、今や八度目の波がやってこようとしています。

この間、勝占中部コミセンでは、徳島市からの指示や徳島県発表の「徳島アラート」など情報に沿って貸館事業などの休止・再開を繰り返すことになりました。

一方で、多くの人は長期にわたるコロナ禍で極力外出を控え、人との距離を置くなど、社会生活のあらゆる面で影響を受けています。そして、こうした事から来るストレスや心身不調を感じている方も多いのではないかと考えています。

こうした中で、地域住民への福祉サービスや安心安全などを提供する役割を持つコミセンでありますし、組織としても地域の方に少しでもこの



卓球教室

解消に役立ちたい、健康でいきいき生活していただくためにどのようなものが良いのかと、できることを探っていました。

感染者を出してはならないというジレンマの中で、どうしたものかと悩みましたが、最近では社会活動を平常に戻すウイズコロナの機運も高まり、対応力も付いて人々の気持ちも少し落ち着きを取り戻したように感じます。そこで、心身の健康に役立ちそうな事業を取り入れることにしました。



徳島版 100 歳体操

「徳島版百歳体操」を、令和三年十月から週二回「卓球教室」と二つの事業を行っています。

できる限りの感染対策をしながら今日まで取り組んで来ました。おかげさまでコロナ感染者も出さず、各行事への参加者は次第に増え、活動に参加されている方々からは「本当によく始めてくれた。ありがとう」「家で籠っているよりストレス解消ができる」「汗もかいて心身共に健康に良い」「みんなと話ができて楽しい」などの声が聞えてきて、本当に取り組んで良かったと思っています。

これからも感染対策をしっかりしながら続けてまいります。いと考えています。

令和二年六月からは週一回「徳島版百歳体操」を、令和三年十月から週二回「卓球教室」と二つの事業を行っています。

夏休みイベント 「親子木工教室」をとおして

八万青少年育成会

山根 孝文

晴れ渡る青空のもと、八万地区「親子木工教室」が令和四年七月二十三日に八万南小学校で開催されました。毎年好評の行事ではありますが、新型コロナウイルス感染と熱中症の対策を重点的に各種団体の方々と話し合いを重ね、入念に準備を進めていきました。そして昨年木材の手配やカット・道具の貸出を徳島県木材買方協同組合の皆さまに快くご協力をいただき、無事当日を迎えることができました。



木工教室開講式の様子

参加者の中には、作りたい作品を丁寧に図面に起こしてくる親子が多くいます。自分のイメージする形やサイズ等を自由に作り出していくことができるのは、木工の最大の魅力となります。ノコギリやかなづちなどの道具に初めて触れる子もいましたが、組合や地域の方々の優しい指導や補助により、次第に上手に扱えるようになりました。作業が進むにつれ、木材が形となっていく様子に目を輝かせてる姿は、とても微笑ましいも



道具の説明を受ける親子

のです。今の時代では、ゲームに夢中になる子どもが多いように思われますが、こうした体験により本来兼ね備えた柔軟な発想力や集中力を発揮し、ひたむきに打ち込む姿は頼もしく感じます。また、共同作業において、親子間のコミュニケーションを深める最良の場でもあります。木は私たちの生活や文化にとって欠かせない素材です。触れると感じる木のぬくもりや、様々な木目模様心が癒されます。木の良さやその利用意義を学ぶ「木育（もくい



親子で共同作業

く」にもつながります。近年では自然物に触れることや、モノを作ることが少なくなってきましたが、できあがった世界に一つだけの自分の作品は、愛着を得て、モノを大切に作る心も育つことができます。八万の子どもたちを、八万の地域のみんなで大切に見守り育てる。そんな思いを胸に、ひとつひとつの行事や活動に意味を持ち、さらなる未来へとつなげ、よりよき地域となるよう今後も尽力していきたいと思えます。

明けましておめでとうございませう。昨今の感染症はコロナ株が変異し、まだまだ予断を許さない現状です。コミュニティだより九十三号をお届けします。

編集後記

内藤市長からは「『このまちが好き』と感ぜられるわくわくするまち」の実現の協力要望。島田会長からは早くコミュニティ協議会への公民館全館移行をスムーズに行いたいとの要望がありました。新町地区からはコロナ禍で感染予防をしての様々な活動報告、加茂名地区からは西部公園の忠霊塔の慰霊祭の報告、東富田地区からは自主防災会連合会の設立の報告、川内地区からはコロナ禍でもなんとか活動をしようと努力しているなかで「オタフクナンテン」が根付き、癒やしになっているとの報告、北井上地区からは地区の交通を警察と協力して「ゾーン30プラス」の設置の報告、勝占中部地区からはコロナ禍での感染者をださない努力と中でも活動再開に向けての報告、八万地区からは、木工教室を通して木の良さや作品の愛着を得てモノ作りの大切さの報告をしてきています。

令和五年が皆さまにとって良き年となりますよう心からお祈りいたします。

(大川良文 記)